

発行/明石市立二見中学校PTA

編集/PTA広報部

〒674-0094 明石市二見町西二見594

TEL078-918-5930

http://scwww.edi.akashi.hyogo.jp/~jr_ftml/

デザイン・制作:デザインジムシヨHIROKOB0



(希望88号)

「命の重みと連続性に思うこと」 第20代校長 木村 孝

保護者の皆さま、常日頃、本校教育にご理解ご協力を賜りまして誠にありがとうございます。今後も地域の皆さまと共にご支援いただきますよう、宜しくお願い申し上げます。

さて、いきなり私ごとで恐縮ですが、このPTA広報誌が皆様方の手元に届く12月



には、私は「おじいちゃん」になっている予定です。娘が11月に出産予定(女の子だそうです)で、私にとっての初孫の誕生ということになります。すでに名前も決めているとのことで、おなかの中の赤ちゃんに「〇〇ちゃ〜ん」と呼びかけたり、クラシック音楽(特にバッハの曲)を聴かせたり、絵本を読み聞かせたりしているとのこと。いわゆる胎教(たいきょう)ですね。これは私の妻が妊娠中にしていたことをアドバイスし、娘も実践しているとのこと。効果として期待されることは、胎児の右脳の発達を促し、「美しいものを美しいと感じる力」「素晴らしいことを素晴らしいと感じる力」など、「豊かな感性」を育てることです。親バカですが、少しは娘や息子にも効果があったように思っています。

皆さんの中には、代々受け継がれている「家系図」なるものが家にあるとい

う方もいるでしょう。私の場合、そんなものは無く、せいぜい曾祖父(ひいじいちゃん)の名前(確か馬吉だったと思う。変な名前…)を父親から聞いた事があるという程度で、それ以前の先祖は知りません。しかし、私にも数え切れないご先祖様がいて、幾多の苦難の時代を精一杯生き抜き、私の顔つきなどの特徴もその遺伝子で伝えられると共に、「命」がリレーされてきた事実には間違いはありません。だから私は今ここにいる。そして、私の遺伝子と「命」は、すでに娘と息子が引き継ぎ、今度は孫に引き継がれようとしているわけで…、「命ってすごいなあ」と思わずにはいられません(ちなみに娘は父親似といわれ、息子は誰が見ても妻によく似ている)。

「命」って自分ひとりだけのものだと思っている人はいませんか。実は違いますよね。奇跡的に先祖代々受け継がれてきたもので、人間の「命」はご先祖様全員の「命」なのです。「自分の命」も「他人の命」もかけがえのない「命」であり、極めて重いものということです。従って「自分の命」を粗末にする行為(例えば自殺など)や、「人の命」を危険にさらすような行為(例えば戦争やいじめなど)は、決して許されることではないのです。私たちは、ご先祖様のたゆまぬ努力によって「命」というバトンを引き継ぎ、そのことによって生かされているということを忘れず、「命」を大切にしなければならないと同時に、次の世代に引き継いでいく使命が与えられている。そのことを肝に銘じて、どんなに苦しいことがあっても、どんなにつらいことがあっても生き抜いていかねばならないでしょう。少なくともそうすることが、何万年か何十万年か知りませんが、「命」をつないできてくれたご先祖様への恩返しではないでしょうか。